

CITY OF YOKOHAMA

横浜市公共事業評価【再評価】

【教育-2】

学校施設の建替事業（榎が丘小学校）

教育委員会事務局 施設部 教育施設課

2024（令和6）年11月11日

これまでの経緯

【評価状況】

今回評価

評価段階	事前評価	再評価
付議状況	令和元年度 (第1回)	令和6年度 (第2回)
意見具申	なし	
事業費	約34.3億円	約48.8億円
事業期間	令和元年～令和9年	令和元年～令和10年

これまでの経緯

【前回までの主な意見と対応状況】

主な意見（要約）	前回までの対応	今回の対応	備考
<ul style="list-style-type: none">・ 通風を考慮した校舎の配置にならないのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 現時点では、基本構想のため、今後、プロポーザル方式で設計者を新しく決めていくので、これからその中で検討していきたい。	<ul style="list-style-type: none">・ 校舎棟をL字型から口の字型へ変更し、中庭の吹抜けや、教室と廊下の上に欄間を設けることにより、自然採光・自然換気が可能となりました。 (本資料：p. 21, 33)	今回対応済み

目的及び事業概要

【目的】

榎が丘小学校は特殊な形状・配置の学校施設で教育環境に課題があり、改修による改善が見込めないことや、施設が古く老朽化しているため、学校施設の建替えを実施します。

目的及び事業概要

【施設の状況（平成30年4月）】

■所在地	青葉区榎が丘29番地
■建設年度	昭和48年（1973年）
■最古の棟の築年数	44年
■体育館築年数	41年
■平均築年数	42.5年

■施設状況	
・普通教室	19 教室
・個別支援教室	2 教室
・特別教室	6 教室
・その他：体育館、プール、給食室 放課後キッズルーム 等	



目的及び事業概要

【事業経緯】

建替対象校として選定（H30）

「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、建替対象校として選定しました。

地元検討会開催・基本構想策定（H30）

学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、意見をいただきながら基本構想を策定しました。

再編整備検討専門会議（H30～R元）

学校単体整備、規模（一般学級19学級）、現地での建替え、市による整備を行うことを決定しました。

公共事業事前評価（R元）

基本設計着手（R元）

公募型の設計者選定プロポーザルを実施しました。

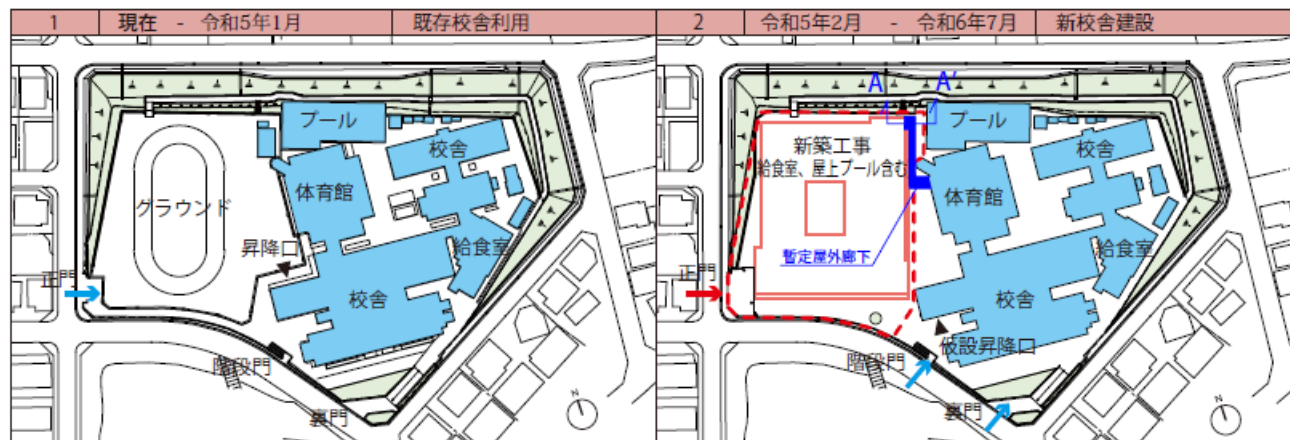
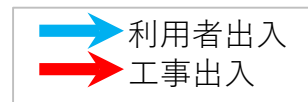
目的及び事業概要

【整備概要】

整備概要	
敷地面積	12,950m ²
建築面積	約3,600m ²
延べ面積	約7,800m ²
構造・規模	校舎棟（給食室、屋上プール）：鉄筋コンクリート造／地上3階建 体育館棟：鉄筋コンクリート造一部木造（屋根）、鉄骨造／平屋 屋外附帯棟（倉庫等）：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造／平屋
グラウンド	面積約3,800m ²
整備諸室	一般保有教室：20CR、個別支援教室：2CR、特別支援教室：1CR 特別教室：6CR その他：職員室、体育館、プール、給食室 等

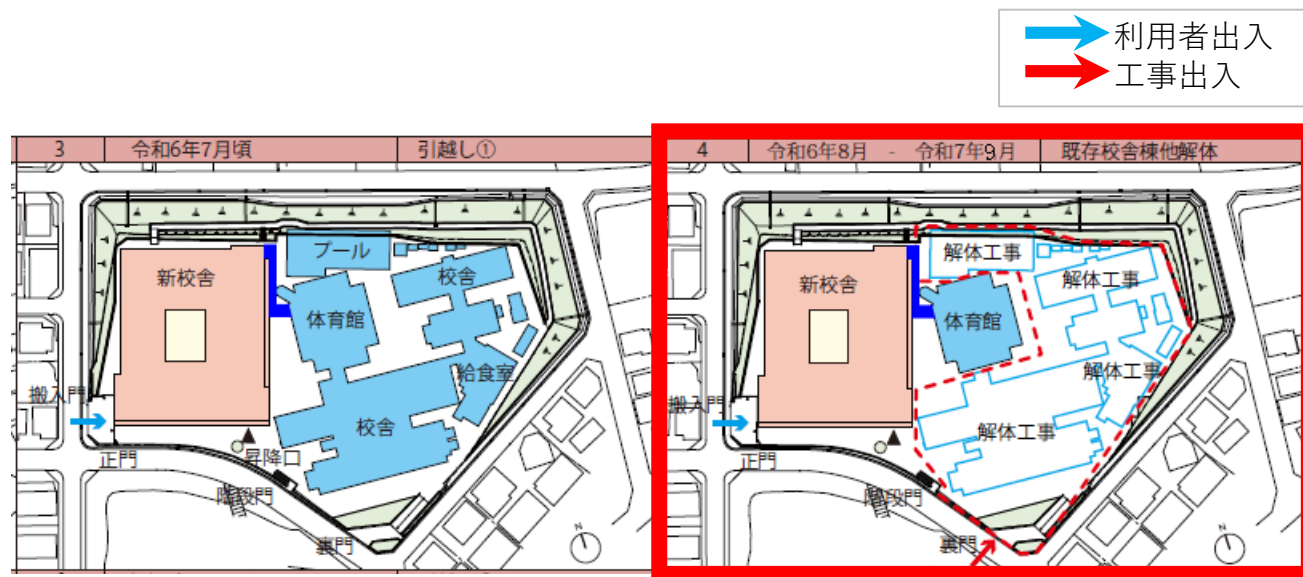
目的及び事業概要

【工事工程】



目的及び事業概要

【工事工程】



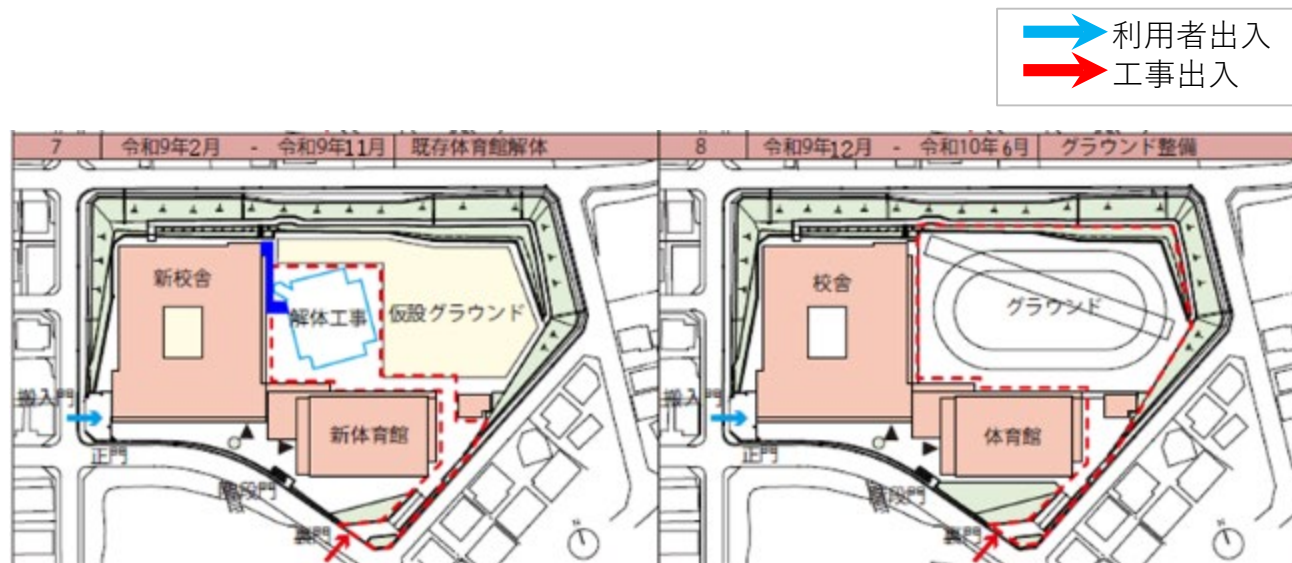
目的及び事業概要

【工事工程】



目的及び事業概要

【工事工程】



目的及び事業概要

【整備内容】

種別	No.	整備水準・整備期・計画・費の比較										学校名： 横浜市立小学校		備考			
		整備期		H25整備水準(小学校R20)		H26準備年度時		H27整備水準(小学校R20)		整備費		H25年度計画時の整備費の増減					
		計画 (年)	計画 (月)	計画 (年)	計画 (月)	計画 (年)	計画 (月)	計画 (年)	計画 (月)	計画 (年)	計画 (月)	計画 (年)	計画 (月)				
専攻	1	19.0	1140	普通教室	学級数	19.0	1219	普通教室	学級数	20	1200	20	1200	1.0	84	増分の貸出	
	2	2.0	120	個別支援教室	2.0	120	2.0	120	個別支援教室	学級数	2.0	120	0.0	0			
	3	0.0	0	特別支援教室	1.0	64	1.0	64	特別支援教室	1.0	64	1.0	64	0.0	0		
	4	2.0	120	理科教室	2.0	120	2.0	120	理科教室	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	5	2.0	120	音楽教室	2.0	120	2.0	120	音楽教室	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	6	2.0	120	家庭科教室	2.0	120	2.0	120	家庭科教室	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	7	2.0	120	図画工作教室	2.0	120	2.0	120	図画工作教室	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	8	2.0	120	図書室	2.0	120	2.0	120	図書室	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	9	1.0	60	コンピュータ教室	1.0	64	1.0	64					0.0	0	-1	-64 ▲水準の変更による	
	10	0.0	0	教育相談室	0.0	32	0.0	32	教育相談室・耐火倉庫	0.0	32	0.0	32	0.0	0	0	教育相談室・教材教具
多目的室	11	0.0	0	多目的室(水廻り学習等)	2.0	120	2.0	120	多目的室(水廻り学習等)	1.0	64	1.0	64	-0.5	-32	-32 ▲水準の変更による	
	12	1.0	60	多目的室(集会・発表等)	2.0	120	2.0	120	多目的室(集会・発表等)	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	13	2.0	120	多目的室(少人数指導)	2.0	120	2.0	120	多目的室(少人数指導)	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	14	0.0	0	多目的室(用途指定なし)	3.0	192	3.0	192	多目的室(学校指定)	2.0	120	3.0	192	0.0	0	0	△毎期水準を維持
管理棟	15	0.5	32.0	校長室	0.5	32	0.5	32	校長室	0.5	32	0.5	32	0.0	0		
	16	1.0	112.0	職員室	2.0	128	2.0	128	職員室	2.0	160	2.0	160	0.5	32	32	水準の変更による
	17	0.0	0.0	事務室	0.0	32	0.0	32	事務室	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	18	1.0	60	控室	1.0	64	1.0	64	控室	1.0	64	1.0	64	0.0	0		
	19	0.0	0.0	保健相談室	0.0	32	0.0	32	保健相談室・教材教具室②	0.0	32	0.0	32	0.0	0	0	保健相談・耐火倉庫
	20	0.8	34.0	放送・スタジオ	0.0	32	0.0	32	放送・スタジオ	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	21	0.0	20.0	会議室	1.0	64	1.0	64	会議室	1.0	64	1.0	64	0.0	0		
	22	0.3	16.0	印刷室	0.0	32	0.0	32	印刷室	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	23	0.6	26.0	職員更衣室	0.0	32	0.0	32	職員更衣室	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	24	0.6	30	技術員室・清掃室	0.0	32	0.0	32	技術員室	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	25	0.0	0.0	和室	0.0	32	0.0	32	和室	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	26	0.7	43.0	職員・来校者用玄関	0.0	32	0.0	32	職員・来校者用玄関	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	27	0.7	44.0	教材貯蔵室	1.0	64	1.0	64	教材貯蔵室①	1.0	64	1.0	64	0.0	0		
	28	1.0	60	安電室	1.0	64	1.0	64	安電室	1.0	64	1.0	64	0.0	0		
	29	0.1	5.0	倉庫	0.0	32	0.0	32	倉庫	0.0	32	0.0	32	0.0	0		
	30	0.3	17	資料室・耐火倉庫	0.0	32	0.0	32					0.0	0	-0.5	-32 ▲水準の変更による	
31	1.0	60	PTA会議室	0.0	32	0.0	32	PTA会議室	0.0	32	0.0	32	0.0	0			
32	1.0	60	地域交流室	0.0	32	0.0	32	地域交流室	0.0	32	0.0	32	0.0	0			
その他	33	0.0	0	児童更衣室	1.0	64	1.0	64	児童更衣室	1.0	64	1.0	64	0.0	0		
	34	4.8	270	昇降口	2.0	120	2.0	120	昇降口	2.0	120	2.0	120	0.0	0		
	35	1.0	60	キッズ	1.0	64	1.0	64	キッズ	1.0	64	1.0	64	0.0	0		
	36	230	給食室	350	350	350	350	給食室	350	350	350	350	0.0	0			
	37	1	EV	1基	1基	1基	1基	EV	1基	1基	1基	1基	0.0	0			
	38	410	屋内運動場(アリーナ)	700	700	700	700	屋内運動場(アリーナ)	700	700	700	700	0.0	0			
	39	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具		
	40	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具	遊具		
		約3,504					約3,571				約3,910			32			

※整備水準はH21年度標準仕様、H27年度標準仕様(注)を参考に決定。
 ※学校は整備水準の変更あり(H25-R20)
 ※... 前期からの増減
 【凡例】
 ▲ ... 前期計画から増減
 △ ... 水準と異なる部分

目的及び事業概要

【整備内容】

■正門側からのパース

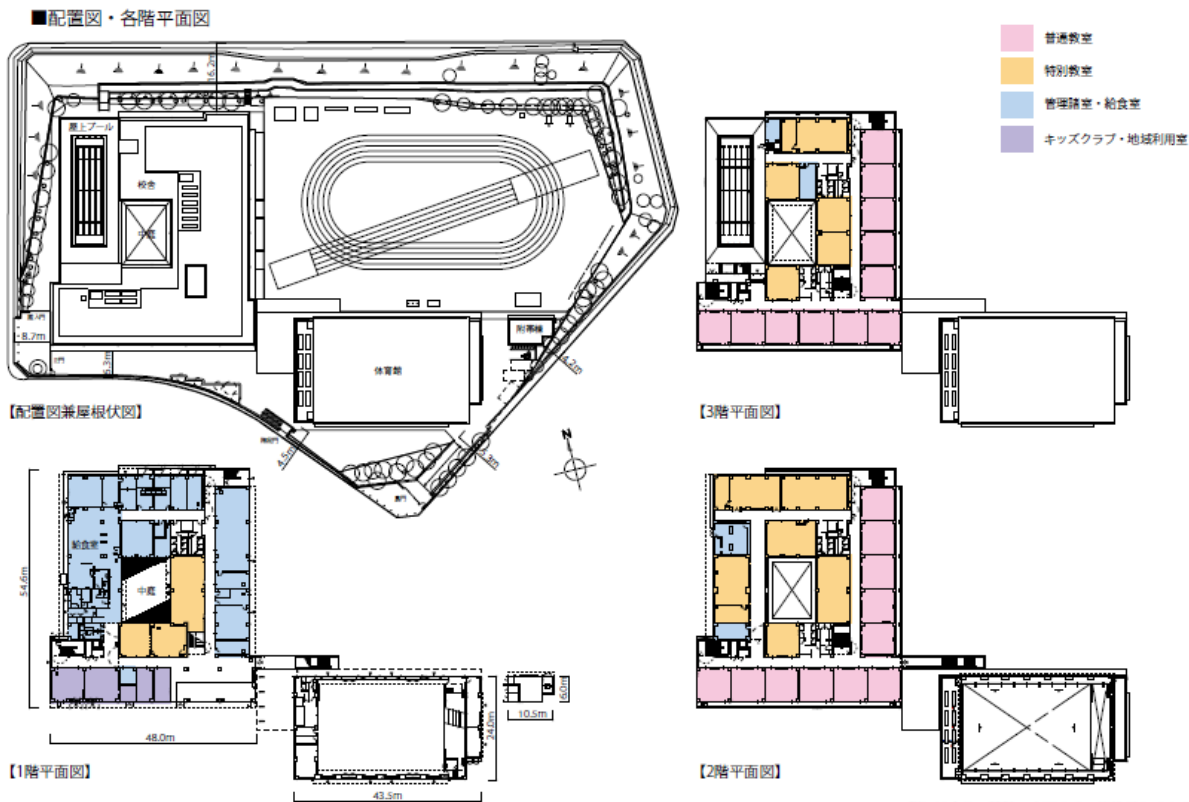


■グラウンド側からのパース



目的及び事業概要

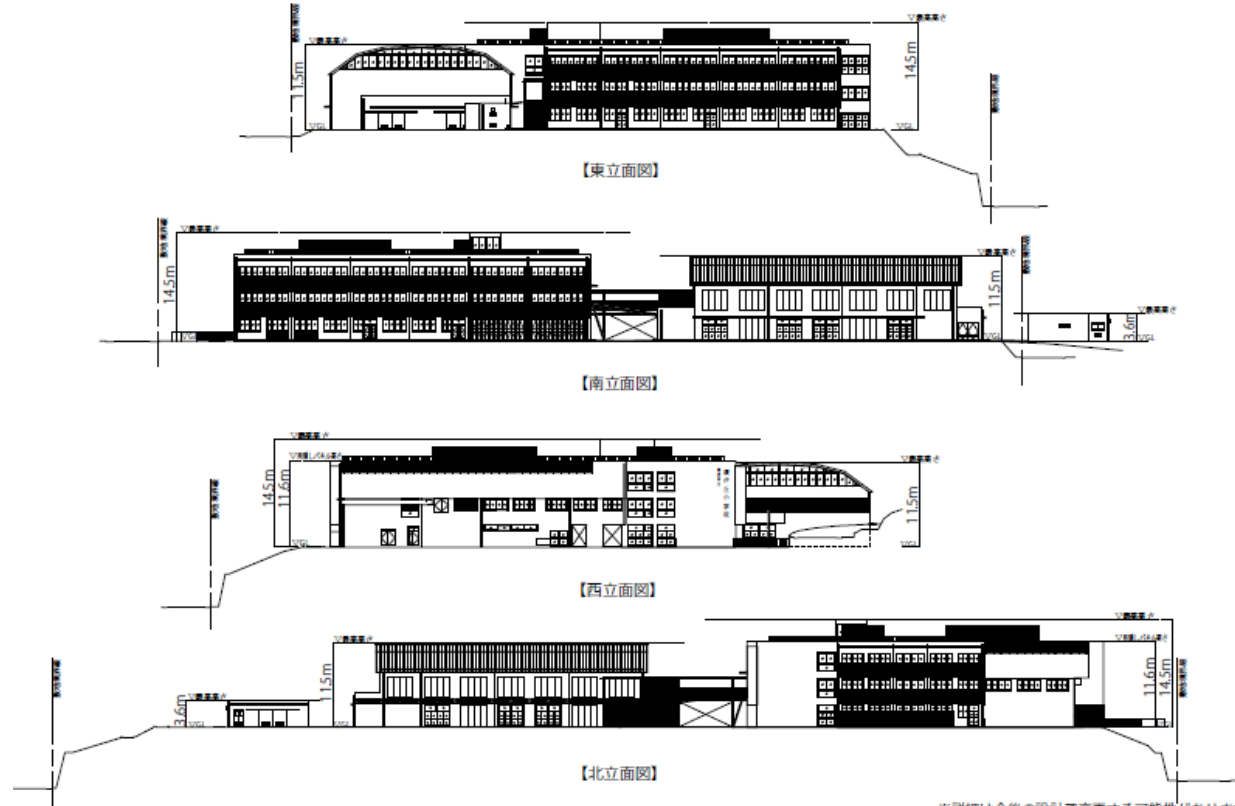
【整備内容】



目的及び事業概要

【整備内容】

■ 立面図



※詳細は今後の設計で変更する可能性があります。

目的及び事業概要

【整備内容】

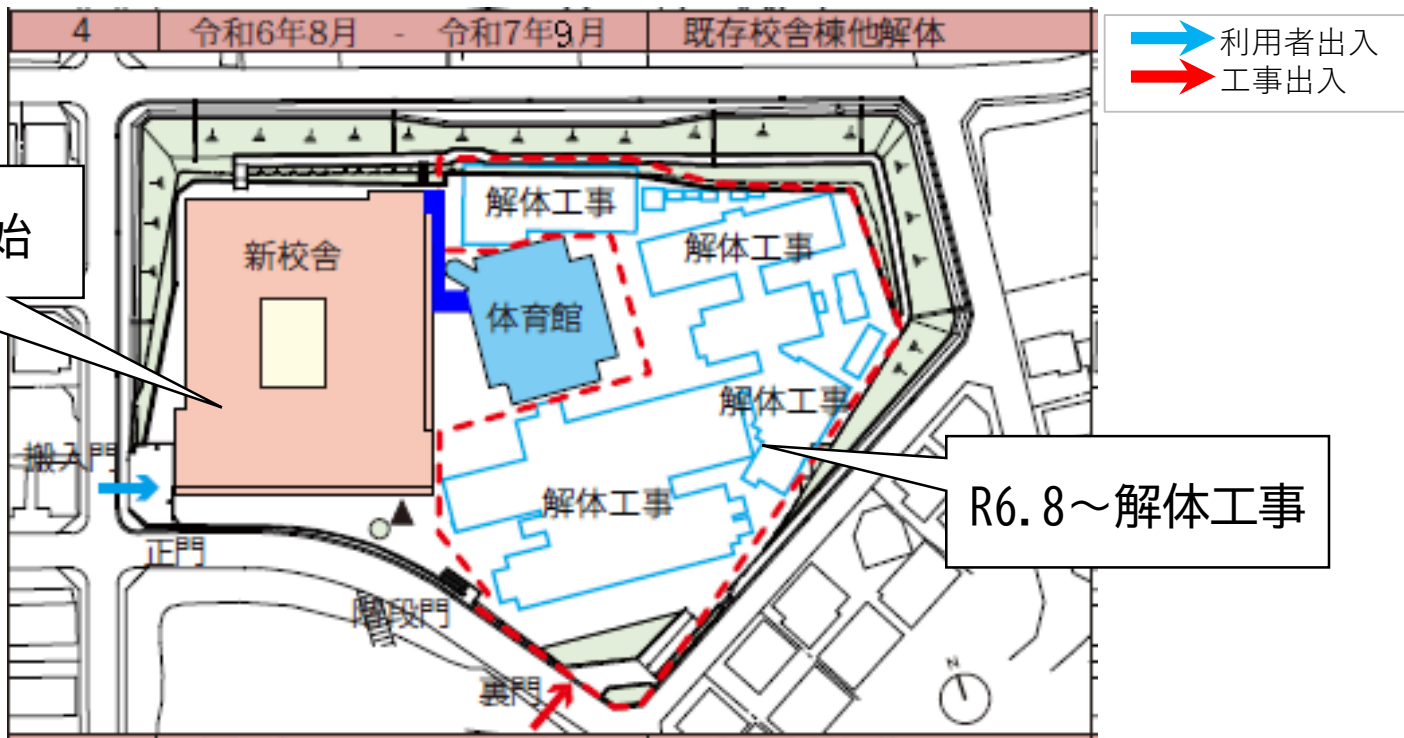
■完成写真



目的及び事業概要

【現況】

R6.8～供用開始



R6.8～解体工事

目的及び事業概要

【事業費】

		事前評価 (令和元年度)			再評価(令和6年度)			
		事業期間			R元 ~ R9			R元 ~ R10
総事業費	合計 (①~③)		約	34.3	億円	約	48.8	億円
	内訳	国費	約	5.5	億円	約	10.0	億円
		市費	約	28.8	億円	約	38.8	億円
	① 委託費等		約	2.0	億円	約	3.1	億円
	② 建設費		約	28.2	億円	約	38.5	億円
	内訳	建替工事費	約	25.8	億円	約	36.3	億円
		改修費	約	0.15	億円		-	
		校庭整備費	約	2.2	億円	約	2.2	億円
③ 解体費		約	4.1	億円	約	7.2	億円	

目的及び事業概要

【事前評価からの変更点】

1. 事業スケジュール

第1期工事着手時期が遅れ、事業スケジュールの見直しを行い、一部供用開始時期を令和5年度から令和6年度へ、全面供用開始時期を令和9年夏頃から令和10年度上旬へ変更しました。

	事前評価時 (令和元年度)	再評価 (令和6年度)
基本設計・実施設計	R元～R3	R元～R3
新築工事、 既存校舎解体工事等	R3～R9	R3～ <u>R10</u>
一部供用開始	R5	<u>R6</u>
全面供用開始	R9夏	<u>R10上旬</u>

目的及び事業概要

【事前評価からの変更点】

2. 事業費の変更

事業費増額分	項目	主な理由	内訳
	物価上昇等	工事労務単価上昇、建設資材高騰（※）	約 8.7 億円
	仕様変更	環境性能の向上等による増額	約 2.2 億円
	面積増	約200㎡（整備水準（別紙1参照）の変更、推計増加1学級、キッズルーム1室、防災倉庫等）	約 0.8 億円
	その他	発注者指定型週休2日制導入	約 2.2 億円
		測量、工事監理等 業務追加による委託費増	約 0.6 億円
	合計		約 14.5 億円

（※）建設物価調査会が公表している建築費指数により上昇率を算出

目的及び事業概要

【事前評価からの変更点】

3. 配置変更

【変更内容】



基本設計の中で、グラウンドと校舎の位置を入れ替えることによる近隣への影響をできるだけ少なくすること、グラウンドを広く整形にできること、仮グラウンドの設置を可能となるように工程を検討したことにより、配置を変更し、先行工区の仮使用に係る内部改修を不要とするなどしました。

また、校舎棟をL字型から口の字型へ変更し、中庭の吹抜けや、教室と廊下の上に欄間を設けることにより、自然採光・自然換気が可能としました。

目的及び事業概要

【事前評価からの変更点】

4. 整備諸室の変更

(単位：室)

主な室	整備前	事前評価時	再評価時 (供用時)	備考
普通教室	19	19	20 (18)	
個別支援教室	2	2	2 (4)	
特別支援教室	0	1	1	
多目的室	2	4	4	
特別教室	6	7	6	整備水準改定
放課後キッズルーム	1	1	2	こ青局所管
面積	約6,000㎡	約7,600㎡	約7,800㎡	

目的及び事業概要

【児童・学級推計】

事前評価時 (平成30年5月1日時点)

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
児童数	643	636	638	636	632	621	633
学級数	19	19	20	21	20	19	19

整備する教室数を確定した年次 (R3) での設定根拠 (令和3年5月1日時点実数・推計値)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
児童数	643	632	627	605	611	595	602	631	610	593
学級数	19	19	20	19	20	20	20	21	21	21

最新の児童・学級数の実数と推計値による今後の見通し (令和6年5月1日時点)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
児童数	605	589	540	525	524	495	468	454	429	419
学級数	19	20	18	18	18	18	17	17	16	16

事業の必要性

【事業を巡る社会経済情勢等の変化】

事業採択当時、平均築年数 42 年以上経過し、老朽化が進んでいたこと及び、特殊な形状・配置の学校施設で教育環境に課題があり、改修による改善が見込めず、現在の教育活動に必要な整備水準が確保されていなかったため、老朽化対策及び教育環境の改善を図る必要があります。

児童数は減少傾向ですが、個別支援学級は急速に増加しており、将来的には、一般学級の減少による余剰教室は、個別支援学級としての利用が見込まれます。

事業の必要性

【事業の投資効果・事業効果等】

1 施設面

(1) 安全・安心・安定性・快適性（教育環境の改善）

バッテリー/クラスター型の教室配置のため、廊下にそって教室が並んでおらず、他学級との交流や教員間の連携が行いづらいことや、校舎内の移動効率が悪く校内の見回りに長時間かかるなど機能面で課題があり、施設も老朽化していたため、本事業を実施することで、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することが可能です。

また、現在の学習指導要領に基づき、多様で能動的な学びに対応するため多目的に利用できる室を配置しています。

事業の必要性

【事業の投資効果・事業効果等】

1 施設面

(2) 将来の用途変更への対応

教室間の耐震壁は、レイアウト変更に対するフレキシビリティを確保するために、2～3教室に1箇所配置として計画しています。

(3) プール施設等の合理化

設計当初、近隣の民間プールへの委託を検討しましたが、設計中に当該施設が閉業したため、従前とおりプールを整備することとしました。

事業の必要性

【事業の投資効果・事業効果等】

2 防災面

(1) 地域防災計画での位置づけ等

地域防災拠点としての機能を再整備し、体育館、グラウンド、倉庫の位置をより使い勝手に配慮した配置とすることで、地区の防災機能が強化されます。

(2) 災害への対応

敷地は浸水や土砂災害の被害想定はないため、特別な措置は行っていません。

事業の必要性

【事業の投資効果・事業効果等】

3 地域面

(1) 地域まちづくりの推進への配慮

地域交流室に外部からの出入口を設けるなど地域利用に配慮しました。

(2) 目的外利用への対応

学校としてのセキュリティを確保した上で、放課後キッズクラブや体育館の利用が可能となるように、学校と出入り口を別に設けるなど、学校以外の利用に配慮した計画を行いました。

事業の必要性

【事業の投資効果・事業効果等】

4 環境への配慮

- ・緑化 : 既存の樹木を診断を行い、可能な限り活かすことで、コスト削減と地域への配慮を図りました。
- ・省エネ : 校舎棟BEI=0.60（設計時）、高効率空調設備の導入、外皮の断熱化、各塔屋部分の換気用サッシによるナイトパーズ、照明器具のLED化
- ・創エネ : PPA事業を見込んだ設備配置
- ・木質化 : 内装等の木質化
- ・総合環境 : CASBEE Aランク取得
- ・その他 : 中庭の吹抜け、廊下突当りの開口、教室廊下間の欄間の設置などにより、共用部は自然採光や通気性に配慮

事業の進捗状況

事業進捗よく率%	令和6年7月 校舎棟工事完了 令和6年8月～ 既存校舎解体工事
56.0%	
用地取得率%	
-	
供用等の状況	
一部（校舎棟） 供用済	

事業の課題及び進捗見込み

【事業課題】

同一敷地内で学校運営を行いながらの工事のため、建設と解体を繰り返すローリング方式とする必要があり、教育環境への制約が長期化します。

このため、体育館の継続利用、グラウンドの工事利用範囲を極力小さくするなどの工夫や、授業時間中の工事騒音、屋外教育活動場所の制約が生じることに対する配慮が必要となります。今回、体育館の継続利用を可能とするとともに、近隣の公園について地域の方の協力を得て屋外活動場所として利用しています。

また、今後、既存校舎解体後には仮グラウンドを設置するなど、敷地内での屋外活動スペースを確保します。

事業の課題及び進捗見込み

【進捗見込】

令和 7年度	体育館棟建設着手
令和 8年度	既存体育館棟解体工事
令和 9年度	校庭整備工事
令和 10年度	全面供用開始見込

コスト縮減項目

- ・ 現地建替えを行うにあたり、仮設校舎を不要とするとともに、継続的な学校運営を可能とするため建設と解体を繰り返すローリング方式としました。

(事前評価時参考)

仮設校舎：34ヶ月リース 4,285.00㎡、22CR、3階建：865,570千円

- ・ 既存杭の撤去は新設杭に干渉する箇所限定し、杭撤去費用を抑えました。
- ・ 教室間や階段部分等に耐力壁を設けた耐震壁付ラーメン構造とし、耐震壁で地震力を負担するため、柱・梁断面を小さくすることができたため、躯体量を縮減することができました。
- ・ 校舎棟を口の字型に配置し、避難に供する階段を効果的に配置する等、共用部分を縮減しました。

対応方針（案）

計画通り

【理由】

教育環境及び地域防災拠点としての機能の改善を行います。

事業を再評価した結果、物価上昇等による事業費の増はあるものの、事業は順調に進捗しており、事業の必要性と効果が期待できることを確認しました。

そのため、早期の教育環境改善の実現に向けて、事業の継続は必要です。